



人の力とシステムの活用で高齢者と家族の安心を手助け

市長 高崎から孤独死をなくすという強い決意で始めたのが「あんしん見守りシステム」です。自宅の居間などにセンサーを取り付け、人の動きを感じないと見守りセンターに情報が行き渡るといいます。見守りセンターでオペレーターをなさっている間淵さん、救急車を呼ぶようなケースもあるそうですね。

間淵 そうですね。人の動きが12時間ないと、まずオペレーターから利用者ご本人に安否確認の電話を入れます。連絡が取れないと事前に登録してあるご家族などに連絡しますが、場合によってはセンターの職員が駆けつけます。お風呂場などで倒れているのを発見して、救急車を手配したこともあります。

市長 実際に多くの命が救われていますね。

間淵 ご家族からお礼の言葉をいただくことと本当にうれしくて、スタッフみんなで良かったねって。やりがいがあります。

市長 もう一つ、見守りセンターに対応していただいているのが「はいかい高齢者救援システム」です。認知症の方が出かけたまま帰れず、事故に巻き込まれたり、亡くなって発見されたりする事例が全国的に起こっています。警察への捜索依頼も多いのですが、行き先も分からず探すのは大変です。そこで考えたのが、小型のGPSを付けてもらう方法です。ご家族から行方不明の連絡をいただく、見守りセンターで居場所の確認を行うという仕組みですね。

間淵 認知症の方の持ち物などに付けたGPSで我々が位置を特定して、ご家族にお知らせします。連絡からほぼ1時間以内にご本人を見つけられますね。

市長 一人暮らしやお年寄りだけで暮らすお宅は、ずいぶん増えていきます。どちらのシステムも24時間体制で対応していただ



新井 良幸さん 西毛交通株式会社代表取締役。おとしよりぐるりんタクシーの吉井ルートを担当

伊東 明美さん 民生委員・児童委員協議会吉井地区会長。地域の幅広い活動に携わる

富岡 賢治市長 全国に先駆けた、さまざまな福祉施策を進め、高齢者の暮らしを支えたい

矢島 素子さん 高齢者あんしんセンター豊岡の管理者・社会福祉士として地域を飛び回る

間淵 美智子さん 見守りセンターのオペレーター。電話での安否確認で高齢者と家族を支援



一人一人に寄り添う高齢者福祉の取り組み

いつまでも高崎で暮らすために

本 市では、「高齢者あんしんセンター」を拠点に、全国に先駆けた新しい取り組みで、一人一人に寄り添う福祉を実践しています。「はいかい高齢者救援システム」や「介護SOSサービス」、「おとしよりぐるりんタクシー」など、どれも類を見ない取り組みです。今回は、高齢者福祉に携わる皆さんをお迎えして、高齢者とその家族に寄り添い支える本市の高齢者福祉についてお話を伺います。

待つ福祉から出向く福祉へ
高齢者あんしんセンター

市長 お年を召した方々が安心して暮らせるまちにする。これは自治体の最優先課題と考えています。市長になってから一貫して取り組んできました。その一つが市内29か所に設置した「高齢者あんしんセンター」です。全国的な組織である地域包括支援センターが市内9か所にありましたがこれを廃止して、よりきめ細かな対応ができるよう地域を小さい単位に分けました。さらに高齢者に相談に来てもらうのではなく、こちらからお宅に伺う体制にしました。「出向く福祉」への転換です。相談のために自ら電話したり足を運んだりするのはおっくうですし、その人の様子を知るにはこ

ちらから出て行くことが大事だと思えます。豊岡地区のあんしんセンターの管理者をされてる矢島さん、毎日地域の高齢者のお宅を回ってくださっているんですね。

矢島 はい。実際に足を運ぶことで、生活の様子やご近所との関わりなどから見えてくることも多いですね。顔見知りになると、他の困っている人の情報も教えてもらえますし、地域に出つつながることの大切さを実感しています。

市長 どんな相談が多いですか。

矢島 認知症や介護のことですね。最近では身寄りのない人の相談も増えています。

市長 家族の形も変わってきていて、集合住宅にお住まいのお年寄りも増えていきますね。あ

予約不要の無料巡回タクシー
使い勝手の良い日常の足に

市長 高齢者の移動手段の確保も、地方自治体にとって大きな課題です。予約制の相乗りタクシーなど、どの自治体も苦慮しています。なかなかうまくいかない。そこで本市で6月から運行を開始したのが「おとしよりぐるりんタクシー」です。これはルート上ならどこでも乗り降り自由な無料の巡回タクシーで、倉淵・榛名・吉井の3地域に導入しました。新井さんは吉井地域を担当されるドライバーさんですね。地域の皆さんの反応はいかがですか。

新井 とても喜んでいただいていますよ。路線バスが通らない地区を重点的に走るので、運転免許証を返納した方から助かった

という声をいただきます。

市長 それは良かった。約1時間のルートを2台でぐるぐる巡るので、30分ほど待たば必ず来ます。面倒な事前予約もいらな

新井 スーパーへの買い物や通院など、便利に使っていただいています。どこを通るのか、まずはお試しでぐるっと一周乗ってみようという人もいらっやいます。手を上げてもらえれば止まりますので、ぜひ気軽に使ってほしいですね。

伊東 実は私も地域の方にお勧めしようとして、乗ってみたくて無料ですし、どこでも乗り降りできてすごく便利です。路線が広がるのがありがたいなと思います。

市長 そうですね。高崎地域でも高齢化率が高くなり高い地区もあります。ゆくゆくはもっと広げたいと考えているんですよ。

**誰もが直面する問題
社会の変化に合わせた施策を**

市長 先ほど認知症や介護の相談が多いと伺いましたが、現場に出る中で何か気になることはありますか。

伊東 お年寄りだけの世帯で、いわゆる老老介護も増えていま

しんセンターができて6年目ですが、それ以前からずっと地域の高齢者の相談には、各地域の民生委員の皆さんに親身に対応していただいています。伊東さんには吉井地域の民生委員として汗を流していただいています。あんしんセンターとの役割分担はあるんですか。

伊東 お互いに情報共有しています。家族関係など難しい相談もありますが、あんしんセンターと連携できるので我々も心強いんですよ。社会福祉士や保健師などセンターの専門職の人に入っていただくとスムーズにいくこともありますし、ご高齢の方も安心できると思います。

矢島 私たちも民生さんからつかっていただきます。

市長 協働体制をとっていただきありがとうございます。民生委員さんの無償のご尽力には、本当に頭が下がります。



24時間体制の見守りセンター

す。最近では新型コロナの影響で訪問を控えているのですが、詐欺を警戒してか電話にも出ていただけないことも多くて心配ですね。

市長 昨今は人との関わり方も難しくなっていますが、やはり皆さんの助けが必要です。あんしんセンターや民生委員さんには、ぜひ繰り返し働きかけていただければと思います。

矢島 私は入院や介護施設に入る時の身元保証人の問題が気になります。身寄りがいなかったり、親族と疎遠だったりする人も増えているので、私たちもいざというときに困ってしまっているんです。

市長 それは大きな問題ですね。研究していく必要があります。私自身も歳を重ねる中で、お年を召した方の視点で考えるまだまだ不十分なことがたくさんあると感じています。これからも一つ一つ取り組んでいきますので、皆さんのお力添えをお願いします。

一同 ありがとうございます。

対談の様子を動画で
ご覧いただけます

新型コロナウイルス感染症に注意しながら、参加者の皆さんの了解を得た上でマスクを外して撮影しています

